

2022年度版 成人式ヘア&メイク&着付 詳細要項

(1) 課題の内容

- 成人式用の中振袖の着付(六通または全通の袋帯使用)及びセット、メイクを行う。帯結びは自由とする
- 成人式の品位あるヘア・メイク・着付の技術力とトータルバランスの完成度を競技する

(2) 競技規定

- ヘア&メイクの競技、ボディ補正、長襦袢着付までの競技、振袖着付・帯結びの競技に分けて行う
- 選手は一人でヘア・メイク・着付を行う
- モデルは人体とし、プロ・アマは問わないが、SNS や雑誌などに掲載可能であること
- 選手はマスク着用、モデルはマウスシールドを着用
- 選手の服装は上衣は白のシャツやブラウス、下は黒のパンツ（素材は問わない）。
シンプルで清潔な服装であること（肌の露出の多いものや、透けるもの、ヒラヒラするものは禁止する。帽子、スカーフ、ショール、アクセサリも禁止とする。）

(3) 競技時間

1次競技・・・競技会場にてメイク、ヘアセットを60分で行う

2次競技・・・控室にて補正～長襦袢までの20分で行う

3次競技・・・競技会場にて着付を行い、草履を履かせてポーズ付けまでを20分で行う

メイク、ヘアセット開始時には、立ったまま「お願い致します」、着付時には、衣装敷の左後ろに正座したまま「お願い致します」と挨拶してから、競技に入る。

(4) 競技用具の準備 (選手が準備するもの)

- ① 中振袖(重ね衿または比翼つき)
- ② 袋帯(六通または全通)
- ③ 草履
- ④ 長襦袢
- ⑤ 帯締め、帯あげ
- ⑥ ヘア用具一式
- ⑦ 化粧品一式
- ⑧ 衣装敷き(120cm x 180cm以内)
- ⑨ 衣装箱（通常の衣装箱及びそれに準ずる箱を必ず持参し、大きさは縦44cm×横64cm×高さ25cm以内とする）
※プラスチックの衣装ケースや手さげ型の衣装ケースは除く
- ⑩ 小物付属品
足袋・肌襦袢、裾よけ（もしくはワンピース型の肌襦袢）・腰紐（5本～6本）・帯枕・仮ひも（変り結び用）・ボディ補正用具・前帯板と後ろ帯板（ゴム付きは不可）・クリップ類・伊達巻き2本（長襦袢及び着物用）
- ⑪ ガウン（競技会場でメイク・セットをする時に必ず着用する。色は無地で、肌色に馴染む明るめの色を使用すること・ガウンの下は肌襦袢・足袋は着用のこと。）
- ⑫ ガウンの上にはクロスやケープはせず、必ず前、後ろに白のタオルをかける。（バスローブは禁止）
- ⑬ 椅子に座った時に膝が見える長さのガウンの方は、ひざ掛けを用意してくる（ひざ掛けは白で無地に限る）

(5) 着付け競技に関する注意事項

- ① 衿とじは、事前にやってくること
- ② ものさし、メジャーの使用は認めない
- ③ 助手の使用は一切認めない
- ④ クリップを留めるための、ポーチや腰用のエプロンの使用は認めるが、タイム前にそれらにクリップを留めることは認めない（スタート後はOK）
- ⑤ ブラジャーの使用は認めない。和装用のブラジャーは使用可（補正付は禁止）
- ⑥ 胸をつぶすための補正やガーゼは使用して良い
- ⑦ 極端に完成されたボディ補正道具の使用は認めない
- ⑧ 補正を止めるための、テープや包帯止めは使用可
- ⑨ ボディ補正のパットやタオルはとじ付けてあってはいけない
- ⑩ ひも付きのおしりパットも不可
- ⑪ 帯や着物などに糸印をつけておくことは認めない
- ⑫ モデルが、ひも、伊達巻、帯などを結ぶことは認めない(ただし、ひも、帯あげなどを、腕にかけたり、手に持つことは差し支えない。)
- ⑬ モデルが、袖、衿元、裾などを修正すること、衿合わせを押さえることは認めない（但し、たもとを持ち上げることは差し支えない）
- ⑭ 帯に形付けをしたり、帯結びの課程につながる過度のたたみ方は認めない
- ⑮ 袖の板紙使用は、撮影時は良いが、競技の際の使用は認めない
- ⑯ 帯飾りは禁止
- ⑰ 帯あげは出来上がりが「入」の字型とする。帯締めは中心で結ぶこと
- ⑱ 競技終了後、選手はモデルに一切触れてはならない
- ⑲ 草履を履いて審査を行い、審査中のモデルは、両手を軽く広げ、おはしよりが隠れないポーズをとる（草履を履かせて、ポーズ付けまでをタイムとする）

(6) 衣裳類の禁止事項

- 1：中振袖
 - ① 身幅にアールをつけて胸部を絞った仕立ては認めない
 - ② おはしより紙は使用禁止とする
 - ③ 重衿は着物の衿に付けること
- 2：長襦袢
 - ① 衿は自由とするが、半衿は必ず縫い付ける
 - ② 後衿の力布は使ってはいけない
 - ③ 特殊加工をほどこした衿や刺繍の入った衿は認めない
- 3：帯
 - ① ひだの折り癖がつけられているものは認めない
- 4：小物
 - ① コーリンベルトの使用は認めない
 - ② 帯飾りは禁止とする

(7) ヘア・メイクに関する注意事項

- ① アミカラー等は事前に巻いて控室に入場し、競技開始までに外しておく
- ② メイクは下地クリームもしくはファンデーションから開始する。化粧水・乳液は競技前につけておいてOKとする
- ③ モデル自身による化粧施術は、競技中はもとより、控室でも禁止する

- ④ アイテープ及び、つけまつ毛を事前につけてくること、競技中にモデルがつけることを禁止する
- ⑤ まつ毛エクステは禁止とする
- ⑥ モデルがセットのブラシ・ピンなどを選手に渡すこと、メイクのブラシ・筆などを選手に渡すことは禁止とする
- ⑦ 髪飾りの使用は良い。ただし、ヘアピースの個数は1個とし、頭部の1/3以上を覆ってはならない
- ⑧ まげや、おだんご、編み込みなど、あらかじめ形を作ってくることを禁止する。
- ⑨ 形の作られたすき毛、かつらやヘアピースの使用は認めない。
- ⑩ 控室、競技会場での電源は使用出来ない。コンセント不要の電気器具については使用を認める。

(8) その他の注意事項

- ① 競技中に選手同士またはモデル、観客と会話等をしてはならない。またアドバイスも受けてはならない
- ② 競技中道具の貸し借りをしてはならない
- ③ 競技中、他の選手に迷惑をかけるような言動、及び監視員の指示に従わない等の行為は禁止とする
- ④ タイムを計るためのタイマー、時計は音の出ない物に限る
- ⑤ 競技中に選手が時計、ブレスレット、指輪を身につけてはいけない
- ⑥ 控室にはモデル及び出場者本人以外の立入りを禁止する
- ⑦ 補正及びメイクに使うタオルも白に限る
- ⑧ 競技用具は、大会当日の朝、競技が始まる前に、監視委員が厳重に点検を行う
- ⑨ 忘れものの申告は監視委員を通すこと

(9) 審査時の注意事項

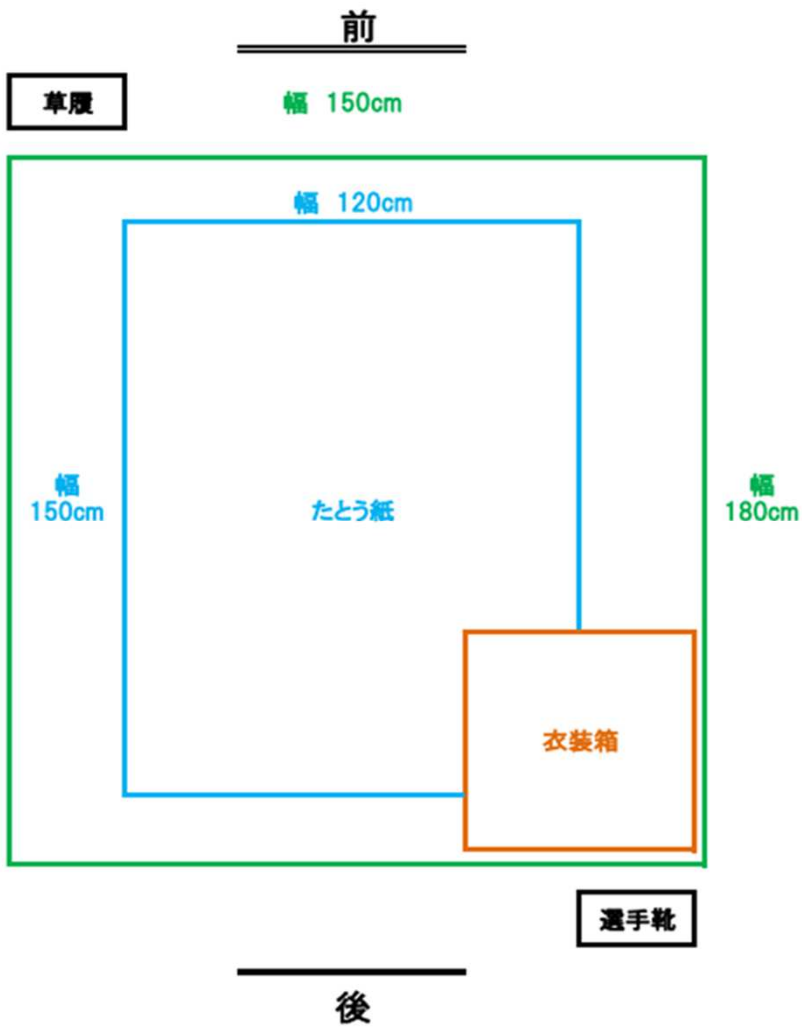
予選大会の審査は作品をスマホで撮影していただき、審査員は写真にて審査します

- ① 競技終了後、所定の場所にてモデルのマウスシールドを外し、選手のスマホにて写真を撮る
- ② 予め決められたアングルを撮影する（5枚）
 - ※撮影時に、撮影アングルを作る為にモデルや作品に触れることはありとします
 - ※マウスシールドによるヘアやメイクの乱れを手直しすることはありとします
 - ※衿を直したり、おはしよりを直す等の、明らかに修正するような行為はおやめください
- ③ 競技終了後、30分以内に撮影をし、投稿フォームより送信を完了させてください
 - ※送信には電波の環境により時間がかかることがあります。撮影は15分程度で終了させる事をおすすめします

(10) 減点事項

- ① 作品が時間内に完成しなかった場合
- ② 忘れ物をした場合
- ③ 競技時間以外に、作品を修正した場合
- ④ 上記禁止事項や、注意事項を守らなかった場合

【競技会場 たとう紙、衣装箱、選手靴、モデル草履の配置図】



※競技スペース(150cm×180cm)
※たとう紙(120cm×150cm以内)

※衣装箱は競技スペースの中であれば、
たとう紙からはみ出しても良い。